

●会期:8月26日(水)～31日(月)

武井 地子 展 — glimmer — 〈日本画〉

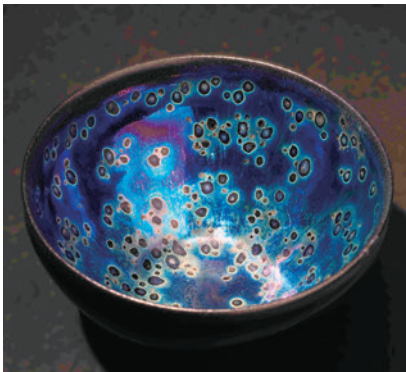


「in white #387」116.7×91.0cm
(50号F) 墨 岩絵具 箔 高知麻紙

東京都出身、2000年武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業。2016年第34回上野の森美術館大賞展入選、2024年Seed山種美術館日本画アワード2024未来をになう日本画新世代入選。また、TOKYO GENDAI 2025(横浜)・アートフェア東京2026への出品など国内外のアートフェアへ多数出品するなど精力的に発表を続けています。今展では、「glimmer」と題し、うつろい光る箔と仄かな白景に墨による影が交錯する中に不確かさ、儚さを内包するモノトーンの色調が織りなす作品数々を展覧いたします。

曜変天目 瀬戸 毅己 展 〈陶芸〉

1981年東京造形大学彫刻科卒業後、愛知県立窯業訓練校を修業。独学で曜変天目再現という道を歩み始めました。2020年には大阪市立東洋陶磁美術館の特集展「現代の天目—伝統と創造」に出品され、曜変天目の再現に挑む作家として高く評価されています。新たな窯との出会いから現れた新作をご高覧ください。



「曜変天目」φ12.2×H 7.1cm

9月の予告

●会期:9月2日(水)～7日(月)

岡田 高弘 展〈洋画〉／丹羽 シゲユキ 展〈陶芸〉

●会期:9月9日(水)～14日(月)

黒木 国昭 展〈硝子〉／Connectives〈現代アート〉

●会期:9月16日(水)～21日(月・祝)

第40回 青渕会 — 標 — 〈日本画〉／池田 省吾 展〈陶芸〉

●会期:9月23日(水・祝)～28日(月)

山岸 大成 展〈陶芸〉／浅野 忠 展〈日本画〉

ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

横浜高島屋美術画廊のご案内

8月

August 2026



「白虎」53.0×41.0cm(10号P) 紙本彩色

●会期:7月29日(水)～8月3日(月)

川又 聡 日本画展 — breathe —

◎美術画廊は毎週火曜、会場準備のため閉廊、最終日は通常通り営業いたします。

横浜タカシマヤは8月18日(火)全館休業日とさせていただきます。

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・
展覧会のご案内



横浜高島屋美術画廊のご案内は
【公式】横浜高島屋美術画廊
のInstagramでも
ご覧いただけます。



●会期:7月29日(水)～8月3日(月)

川又 聡 日本画展 — breathe —

1978年神奈川県出身、2010年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻日本画研究領域修了(学位取得)。個展・グループ展多数。伝統的な墨彩技法から生まれる躍動感と生命力溢れる動物たちを描くことで日本画家として注目され、個展の他、近年では、大作発表を主とするグループ展「FROM」に参加するなど精力的に発表を続けています。

今展では、「breathe」と題し、生命の息遣いに焦点をあてた動植物達の様々な物語を表現した作品の数々を一堂に展覧いたします。



「白虎」53.0×41.0cm(10号P)紙本彩色

飾り団扇と日本画展



木下めいこ(飾り団扇)
「花の色は」40.0×36.0cm

古来、団扇は涼をとるだけではなく、その魔を打ち払う縁起物とされてきました。また、伝統的な京団扇の仕立てによる飾り団扇は、繊細で優美な意匠も備えています。今回で2回目となる今展では「百人一首」を共通のお題として、各作家が取り組んだ飾り団扇の作品と共に、それぞれのテーマに沿った本画作品を一堂に展覧いたします。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

秋野 亜衣・岩崎 絵里・木下 めいこ
後藤 吉晃・佐々木 真士・佐藤 はる香
田村 葵・長谷川 雅也

●会期:8月5日(水)～10日(月)

茶道具特別奉仕会

茶碗・水指・棗・香合をはじめ、掛軸・茶箱や花籠など、この期間限定で多数取り揃えます。温かみのある造形と四季を彩る色彩の楽焼を制作する吉村楽入氏と仁清写しのよわらかで華やかな絵付けが魅力の山川敦司氏の特集のほか、均一価格や特別提供品をご提案いたします。

※7月29日(水)より、一部商品を茶道具売場にて予告展示販売いたします。



左:吉村楽入「紅毛写水指」
右:山川敦司「色絵丸紋紅葉茶碗」

【同時開催】夏の逸品会〈総合〉

涼しげなひとときにふさわしい逸品をご紹介します。

●会期:8月12日(水)～17日(月) ※最終日は午後3時閉廊。

YOKOHAMA MELODY 小西 潮 個展〈硝子〉



「独楽グラス」約φ7×H9cm

小西潮先生は1964年千葉県生まれ。1998年江波富士子氏と共に三浦市に潮工房を設立されました。YOKOHAMA GLASSシリーズは、今展で5回目を迎えYOKOHAMA MELODYをテーマに開催いたします。淡いパステルカラーやフルーツのようなフレッシュな色彩、ナチュラルで落ち着いた色彩による繊細なレースグラス技法や横浜の魅力を再発見できるような作品を一堂に展覧いたします。

●会期:8月12日(水)～24日(月) ※8月17日(月)は午後3時閉廊。
※8月18日(火)は全館休業日。

美術のある暮らしVol.1 — Art in the Living Room — 〈絵画・立体〉



「美術のある暮らし」は、【住まい】という最も私的な空間に焦点を当て、リビング・寝室・ダイニング・書斎・子供部屋など日常のシーンごとに、アートがどのように生活と交わり、時間とともに意味を深めていくかを家具とアートの両面からアプローチするシリーズ展覧会。今展は、「リビングルーム」をテーマとして個性豊かな家具に合わせた絵画・立体作品を展覧いたします。

楚里勇己「ウスムラサキノハナ」41.0×27.3cm
(6号P)金箔定色・典具貼紙・岩絵具・神郷紙

●会期:8月19日(水)～24日(月)

潮工房展 — 海を見ていた — 〈硝子〉

1998年に三浦市に設立された潮工房では、アシスタント達が潮工房での教えを胸に独立し作家として活躍されています。小西潮先生と潮工房出身者総勢11名によるグループ展を開催いたします。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

井上 真梨子・漆山 みさき・神田 祐樹・小西 潮
鈴木 伊美・谷永 太郎・永岡 千佳・野田 マリコ
林 あゆみ・山田 純平・吉村 桂子

漆山みさき「影絵」φ20×H2.5cm

